

サンガ小倉

2019年
春号

平成31年
2月発行

犬の耳に念佛

本通寺若院 禿河 大暁



本通寺の若院、そして現在は小倉組の副組長をさせて頂いております禿河大暁（とくがわだいぎょう）と申します。

昨年、北九州の門司で砂防ダムにイノシシが落ちて、連日全国のニュースに流れるという事がありました。

担当者に聞いたところ、全國から「助けてあげられないか」と500件を超える問い合わせがあつたそうです。そと地元からの電話があつたそうです。それを聞き、我々はいかに自分の都合だけで物事を考えているのかを痛感しました。

も設置されるようになります。

ある時、イノシシ用のワナに野犬の群れの一匹が引つかかるという事件があります。かくらうど隣に住む娘さんがそれを発見した時には、外れずに暴れたせいでワナが酷く足に食い込み、悲痛な鳴き声と心配する群れが周りを取り囮んでいた状況だつたそうです。

あまりに可愛そうな状況に、家に道具を取りに帰り、野犬が威嚇してくる中、勇気を持つてそのワナを外してあげたそうです。

合掌

り難い姿に感謝し、ただお念佛申すばかりで御座います。

野犬が集まつたのです。

我々はこのような生活が出来ているでしょうか。ただ過ごしている毎日の中に、多くのご縁とご恩があります。

立山の麓より少し登つた所には御座います。言うなれば山の中です。足立山には様々な野生動物が生息しており、まるで昔話のようなサル、イヌ、キジ、イノシシ、たぬき等、挙げればきりがないほどの動物と共に暮らしています。しかし実際は近隣でのイノシシの被害も多く、最近では裏山に猟友会が仕掛けたワナ

